

リリース・ノート Open Server™ 15.7 for Solaris

ドキュメント ID : DC75922-01-1570-01

改訂 : 2012 年 4 月 27 日

トピック	ページ
1. 最新のリリース・ノート情報へのアクセス	2
2. 製品の概要	2
2.1 製品のコンポーネント	3
2.2 パッチ	3
2.3 POSIX スレッドと pthreads ライブラリ	3
2.4 IPv6 のサポート	3
2.5 サンプル・ファイル	4
3. 特別なインストールと設定の指示	4
3.1 EBF のインストール	5
3.2 InstallAnywhere インストーラと InstallShield Multiplatform インストーラの実行	5
4. このバージョンで変更された機能	5
5. 既知の問題	6
5.1 インストーラの問題	6
5.2 64 ビット・ライブラリの使用	7
6. プログラミングの問題	7
6.1 新しいバージョンへのアップグレード	7
6.3 静的ライブラリのリンク	7
6.4 スレッドセーフ・ライブラリを使用するプログラミング	8
6.5 タイム・スライス・プロパティとマルチスレッド・ライブラリ・バージョン	8
7. 製品の互換性と相互運用性	8
7.1 互換性と相互運用性の一覧	8
7.2 Open Server を他の Sybase 製品と一緒にインストールするためのガイドライン	10
8. テクニカル・サポート	10

トピック	ページ
9. その他の情報	10
9.1 Web 上の Sybase 製品の動作確認情報	11
9.2 Sybase EBF とソフトウェア・メンテナンス	11
10. アクセシビリティ機能	12

1. 最新のリリース・ノート情報へのアクセス

このリリース・ノートの最新バージョン(英語版)にはインターネットからアクセスできます。製品のリリース後に追加された製品およびマニュアルに関する重要な情報は、Sybase® Product Documentation Web サイトで確認してください。

❖ Sybase Product Documentation Web サイトのリリース・ノートにアクセスする

- 1 Product Documentation (<http://www.sybase.com/support/manuals/>) を開きます。
- 2 製品を選択します。
- 3 [Document Set] リストから、製品のバージョンを選択します。
- 4 マニュアルのリストから、使用しているプラットフォームのリリース・ノートへのリンクを選択します。PDF バージョンをダウンロードするか、オンライン・マニュアルを参照することができます。

2. 製品の概要

Sybase Open Server™ バージョン 15.7 は、以下のオペレーティング・システムの設定と互換性があります。

- Solaris SPARC 32 ビット版および 64 ビット版
- Solaris x86 32 ビット版
- Solaris x86-64 64 ビット版

サポートされるオペレーティング・システムの最新のリストについては、Sybase platform certifications page (<http://certification.sybase.com/ucr/search.do>) を参照してください。Open Server が構築およびテストされたプラットフォーム、コンパイラ、およびサードパーティ製品のリストについては、『新機能ガイド Open Server 15.7 および SDK 15.7 Windows、Linux、および UNIX 版』を参照してください。

2.1 製品のコンポーネント

Open Server のコンポーネントとこれらのコンポーネントがサポートされるプラットフォームのリストについては、『新機能ガイド *Open Server 15.7* および *SDK 15.7 Windows*、*Linux*、および *UNIX 版*』を参照してください。

2.2 パッチ

Sun Solaris SPARC 32 ビット版と 64 ビット版に必要なパッチ・レベル：

- 141414-10 以降

Sun Solaris x86 32 ビット版と x86-64 64 ビット版に必要なパッチ：

- 141445-09 以降

2.3 POSIX スレッドと pthreads ライブラリ

Open Server では、POSIX スレッドが使用されます。スレッド・ライブラリ (*_r) を使用する場合は、pthreads ライブラリを使用してリンクしてください。

Open Client™ のライブラリについては、『*Open Client/Server* プログラマーズ・ガイド補足 *UNIX 版*』を参照してください。

注意 DB-Library™ は、スレッド・インタフェースをサポートしません。

スレッド-セーフ・バージョンの Open Client ライブラリは、POSIX スレッドを使用して作成されています。マルチスレッド・ライブラリはすべて、*_r.a (静的ライブラリ) または *_r.so (共有ライブラリ) という形式で名前が付けられています。マルチスレッド・アプリケーションには、"_r" サフィックスの付いたライブラリ (*libcs_r.a* など) を使用してください。-非マルチスレッド・アプリケーションには、"_r" サフィックスの付かないライブラリ (*libcs.a* など) を使用してください。

2.4 IPv6 のサポート

このリリースの時点では、Open Server を Solaris プラットフォーム上で使用する場合に IPv6 がサポートされます。

以下に示す *interfaces* ファイルのエントリでは、最後の 2 つのサーバ・アドレスが IPv6 数値フォーマットになっています。

```
BARNARD_OS
master tcp ether barnards.sybase.com 18200
query tcp ether barnards.sybase.com 18200
master tcp ether barnards.v6.sybase.com 18200
query tcp ether barnards.v6.sybase.com 18200
master tcp ether
    fd77:55d:59d9:165:203:baff:fe68:aa12 18200
query tcp ether
    fd77:55d:59d9:165:203:baff:fe68:aa12 18200
```

注意 *interfaces* ファイル内の `master` 行と `query` 行はすべてタブ文字で開始する必要があります。

2.5 サンプル・ファイル

サンプル・ファイルは、Open Server のインストール・ディレクトリ `$$SYBASE/$$SYBASE_OCS/sample` にあります。

3. 特別なインストールと設定の指示

Open Server をインストールする手順については、使用しているプラットフォームの『*Software Developer's Kit/Open Server* インストール・ガイド』を参照してください。該当する場合は、このリリース・ノートの「[Open Server](#) を他の Sybase 製品と一緒にインストールするためのガイドライン」(10 ページ)を参照してください。

警告! Open Server と SDK の両方を同じディレクトリにインストールする場合は、同じバージョン、同じ ESD レベルのものを使用することをおすすめします。Open Server と SDK はファイルを共有するため、バージョンや ESD レベルが異なると製品が動作しないことがあります。

環境の設定方法については、使用しているプラットフォームの『*Open Client/Server* 設定ガイド』を参照してください。

Open Client/Open Server アプリケーションおよびサンプル・プログラムのコンパイルと実行については、使用しているプラットフォームの『*Open Client/Server* プログラマーズ・ガイド補足』を参照してください。

3.1 EBF のインストール

インストール環境を最新の状態に保つために、Open Server をインストールした後で、対応する EBF の最新版をダウンロードしてインストールすることを強くおすすめします。製品更新版は、Sybase Downloads (<http://downloads.sybase.com>) からダウンロードできます。

Open Server の各リリースには、SDK のサブセットが含まれます。このため、Open Server EBF には 2 つのバージョン文字列が含まれます。1 つは Open Server EBF に対応し、もう 1 つは SDK のファイル、たとえば Client-Library、isql、bcp などに対応します。

たとえば、ある Open Server 製品では、Server-Library のバージョン文字列が *Server-Library/15.7/P-EBF17391-17390* で、Client-Library のバージョン文字列が *Client-Library/15.7/P-EBF17930* などとなります。これらのバージョン文字列の 17931 は Open Server EBF を示し、17930 は Client-Library ファイル (およびその他の SDK ファイル) を示します。

適切なバージョンの Open Server を使用しているかどうかを確認するには、Open Server ライブラリのバージョン文字列を調べます。

```
strings $SYBASE/OCS-15_0/lib/libsybsrv.a | grep Sybase
```

3.2 InstallAnywhere インストーラと InstallShield Multiplatform インストーラの実行

InstallAnywhere および InstallShield Multiplatform によって生成された一部のファイルは、同じファイル名を共有します。このことは、InstallAnywhere と InstallShield の両方のテクノロジーを使用して、製品を同じインストール・ディレクトリにインストールする場合、またはそこからアンインストールする場合に問題になります。これは、両方のインストーラによって使用されるファイルが警告なしで上書きまたは削除されるためです。Sybase では、InstallShield および InstallAnywhere を使用して、同じインストール・ディレクトリにインストールしたり、またはそこからアンインストールしたりしないことをおすすめします。

4. このバージョンで変更された機能

Open Server の機能の変更点は、『新機能ガイド *Open Server 15.7* および *SDK 15.7 Windows、Linux、および UNIX 版*』に記載されています。

5. 既知の問題

この項では、このバージョンですでにわかっている問題をすべて説明します。

5.1 インストーラの問題

この項では、Open Server のインストール時に発生する可能性のある既知の問題について説明します。

5.1.1 *setup.bin* へのパスに “..” が含まれていると、インストーラが起動しない

[CR #595582] 指定した *setup.bin* へのパスに “..” が含まれていると、インストーラが起動しません。

対処方法 : *setup.bin* へのパスに “..” が含まれていないことを確認します。

5.1.2 インストーラが *tar* を使用して Open Server Suite アーカイブから抽出できない

[CR #593410] インストーラが GNU *tar* ツールを使用して Open Server Suite アーカイブからファイルを抽出するときに、次のエラーが表示されます。

```
The included VM could not be unarchived (TAR).Please
try to download the installer again and make sure that
you download using 'binary' mode.Please do not attempt
to install this currently downloaded copy.
```

対処方法 : *\$PATH* に */usr/bin/tar* を定義します。

5.1.3 Solaris でインストールに失敗する

[CR #593148] ファイル記述子の制限を “unlimited” に設定すると、インストーラが失敗し、次のメッセージが返されます。

```
awk:insufficient memory for string storage Context is:
>>>                                     <<<<
```

対処方法 : ファイル記述子の「ハード」制限値を数値に設定します。

5.1.4 サイレント・モードでインストールするときに機能名が検証されない

[CR #583979] サイレント・モードでインストールするときに、インストーラが、応答ファイルで指定されている機能名を検証しません。

対処方法 : 指定されている機能名が正しいことを確認します。

5.2 64 ビット・ライブラリの使用

Open Server は、64 ビット・バージョンで使用できます。`-DSYB_LP64` フラグを使用して、64 ビット・ライブラリを使用するアプリケーションをコンパイルします。

6. プログラミングの問題

この項では、Open Server に関連するプログラミングの問題について説明します。

6.1 新しいバージョンへのアップグレード

次のような作業を実行することをおすすめします。

- 静的にリンクしているすべてのアプリケーション (`srvlib`) を、新しいバージョンのソフトウェアを使用して再構築します。新しいヘッダ・ファイルとライブラリを使用して、アプリケーションの再コンパイルと再リンクを実行します。
- 動的にリンクしているアプリケーションは、ライブラリ名に "syb" が含まれる SDK ライブラリを使用して再コンパイルおよび再リンクします。

注意 アプリケーション・ファイルを変更した場合は、再コンパイルする必要があります。

アプリケーションの構築に使用するバージョンと同じメジャー・リリースのランタイム・ライブラリを使用してください。

6.2 汎用 64 ビット x86

[CR #682932] Sun Solaris x86-64 (64 ビット版) の場合、ライブラリは汎用 64 ビット x86 命令を使用して構築されます。

6.3 静的ライブラリのリンク

[CR #575063] Open Client/Open Server ライブラリを静的にリンクするときは、アプリケーションをリアルタイム拡張ライブラリ (`librt`) にリンクします。静的リンクを行うには、`-lrt` を `makefile` に追加する必要があります。

6.4 スレッドセーフ・ライブラリを使用するプログラミング

Sybase スレッドセーフ・ライブラリを使用するには、スレッドセーフ・オプションを使用してコードのコンパイルとリンクを行います。cc コマンドの実行時に `-mt -D_REENTRANT` オプションを使用してください。

6.5 タイム・スライス・プロパティとマルチスレッド・ライブラリ・バージョン

Sybase のライブラリのマルチスレッド・バージョンを使用している場合、`SRV_S_TIMESLICE` Open Server プロパティはサポートされません。アプリケーションによってこのプロパティを設定できますが、効果はありません。このため、タイム・スライス・イベントに依存する既存のアプリケーション・コードを変更してから、マルチスレッド・ライブラリと再リンクする必要があります。

アプリケーションで `srv_capability` を呼び出すと、タイム・スライス機能がサポートされているかどうかを確認できます。

7. 製品の互換性と相互運用性

ここでは、Open Server 15.7 と互換性のある製品について説明します。Open Server が構築およびテストされたプラットフォーム、コンパイラ、およびサードパーティ製品のリストについては、『新機能ガイド *Open Server 15.7* および *SDK 15.7 Windows、Linux、および UNIX 版*』を参照してください。

7.1 互換性と相互運用性の一覧

表 1 に、Open Server、SDK、Adaptive Server® Enterprise、および Replication Server® の各バージョンの互換性と相互運用性の一覧を示します。特定のプラットフォームの情報については、各製品の Certification Report を参照してください。

複数の製品が相互運用可能であっても、ある製品の新しいバージョンで導入された新機能が、同じ製品や他の製品の古いバージョンではサポートされないことがあります。

表 1 : 互換性と相互運用性の一覧

Open Server	SDK			Adaptive Server				Replication Server					
	15.7	15.5	15.0	15.7	15.5	15.0.x	12.5.x	15.7	15.5	15.2	15.1	15.0.1	12.6
15.7 Solaris SPARC 32 ビット版	x	x	x	x	x	x	x	該当なし	該当なし	x	x	x	x
Solaris SPARC 64 ビット版	x	x	x	x	x	x	x	x	x	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
Solaris x86 32 ビット版	x	x	x	x	該当なし	該当なし	x	該当なし	該当なし	x	x	該当なし	x
Solaris x86-64 64 ビット版	x	x	x	x	x	x	x	x	x	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

記号の説明 : x = 互換性あり、該当なし = そのプラットフォーム版で製品が使用できない、または Open Server と連動しない。

注意 表 1 に示した SDK および Open Server の互換性情報は、互換性のある製品をそれぞれ別の \$SYBASE ディレクトリにインストールすることを前提とします。

その他の注意事項

- Open Server と SDK の互換性を確保するには、アプリケーションにインクルードされるヘッダ・ファイルのバージョン・レベルと、アプリケーションがリンクしているライブラリのバージョン・レベルが同じである必要がある。
- Open Server を呼び出すアプリケーションで Bulk-Library のルーチンを使用できない。
- DB-Library ベースの Open Server アプリケーションは、バージョン 11.x 以降ではサポートされない。

7.2 Open Server を他の Sybase 製品と一緒にインストールするためのガイドライン

Open Server を他の Sybase 製品と一緒に同じマシンにインストールする場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 一般に、Open Server を新しくインストールする場合は、他の Sybase 製品 (Replication Server、OpenSwitch™、Enterprise Connect™ Data Access、Sybase® IQ など) とは別のディレクトリに配置することをおすすめします。ただし、何らかの問題に対処するために、Sybase 製品の保守契約を結んでいるサポート・センタから Sybase 製品を同じディレクトリにインストールするように明示的に指示された場合を除きます。
- 異なるバージョンの SDK と Open Server を同じディレクトリに混在させないことをおすすめします。たとえば、Open Server 15.5 が存在するディレクトリに SDK 15.7 をインストールすることは避けてください。この場合は、SDK と Open Server の両方を 15.7 にアップグレードしてください。

8. テクニカル・サポート

Sybase ソフトウェアがインストールされているサイトには、Sybase 製品の保守契約を結んでいるサポート・センタとの連絡担当の方 (コンタクト・パーソン) を決めてあります。マニュアルだけでは解決できない問題があった場合には、担当の方を通して Sybase 製品のサポート・センタまでご連絡ください。

9. その他の情報

Sybase Getting Started CD および Sybase Product Documentation Web サイトを利用すると、製品について詳しく知ることができます。

- Getting Started CD には、リリース・ノートとインストール・ガイドが PDF 形式で含まれています。この CD は製品のソフトウェアに同梱されています。Getting Started CD に収録されているマニュアルを参照または印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です (CD 内のリンクを使用して Adobe の Web サイトから無料でダウンロードできます)。
- Sybase Product Documentation Web サイトには、標準の Web ブラウザを使用してアクセスできます。また、製品ドキュメントのほか、EBFs/Maintenance、Technical Documents、Case Management、Solved Cases、Newsgroups、Sybase Developer Network へのリンクもあります。

Sybase Product Documentation Web サイトは、Product Documentation (<http://www.sybase.com/support/manuals/>) にあります。

9.1 Web 上の Sybase 製品の動作確認情報

Sybase Web サイトの技術的な資料は頻繁に更新されます。

- ❖ **製品認定の最新情報にアクセスする**
 - 1 Web ブラウザで Technical Documents (<http://www.sybase.com/support/techdocs/>) を指定します。
 - 2 [Partner Certification Report] をクリックします。
 - 3 [Partner Certification Report] フィルタで製品、プラットフォーム、時間枠を指定して [Go] をクリックします。
 - 4 [Partner Certification Report] のタイトルをクリックして、レポートを表示します。
- ❖ **コンポーネント認定の最新情報にアクセスする**
 - 1 Web ブラウザで Availability and Certification Reports (<http://certification.sybase.com/>) を指定します。
 - 2 [Search By Base Product] で製品ファミリとベース製品を選択するか、[Search by Platform] でプラットフォームとベース製品を選択します。
 - 3 [Search] をクリックして、入手状況と認定レポートを表示します。
- ❖ **Sybase Web サイト (サポート・ページを含む) の自分専用のビューを作成する**

MySybase プロファイルを設定します。MySybase は無料サービスです。このサービスを使用すると、Sybase Web ページの表示方法を自分専用カスタマイズできます。

 - 1 Web ブラウザで Technical Documents (<http://www.sybase.com/support/techdocs/>) を指定します。
 - 2 [MySybase] をクリックし、MySybase プロファイルを作成します。

9.2 Sybase EBF とソフトウェア・メンテナンス

- ❖ **EBF とソフトウェア・メンテナンスの最新情報にアクセスする**
 - 1 Web ブラウザで the Sybase Support Page (<http://www.sybase.com/support>) を指定します。

- 2 [EBFs/Maintenance] を選択します。MySybase のユーザ名とパスワードを入力します。
- 3 製品を選択します。
- 4 時間枠を指定して [Go] をクリックします。EBF/Maintenance リリースの一覧が表示されます。

鍵のアイコンは、「Technical Support Contact」として登録されていないため、一部の EBF/Maintenance リリースをダウンロードする権限がないことを示しています。未登録でも、Sybase 担当者またはサポート・コンタクトから有効な情報を得ている場合は、[Edit Roles] をクリックして、「Technical Support Contact」の役割を MySybase プロファイルに追加します。

- 5 EBF/Maintenance レポートを表示するには [Info] アイコンをクリックします。ソフトウェアをダウンロードするには製品の説明をクリックします。

10. アクセシビリティ機能

このマニュアルには、アクセシビリティを重視した HTML 版もあります。この HTML 版マニュアルは、スクリーン・リーダーで読み上げる、または画面を拡大表示するなどの方法により、その内容を理解できるように配慮されています。

Open Client および Open Server のマニュアルは、連邦リハビリテーション法第 508 条のアクセシビリティ規定に準拠していることがテストにより確認されています。第 508 条に準拠しているマニュアルは通常、World Wide Web Consortium (W3C) の Web サイト用ガイドラインなど、米国以外のアクセシビリティ・ガイドラインにも準拠しています。

注意 アクセシビリティ・ツールを効率的に使用するには、設定が必要な場合もあります。一部のスクリーン・リーダーは、テキストの大文字と小文字を区別して発音します。たとえば、すべて大文字のテキスト (ALL UPPERCASE TEXT など) はイニシャルで発音し、大文字と小文字の混在したテキスト (Mixed Case Text など) は単語として発音します。構文規則を発音するようにツールを設定すると便利かもしれませんが。詳細については、ツールのマニュアルを参照してください。

Sybase のアクセシビリティに対する取り組みについては、Sybase Accessibility (<http://www.sybase.com/accessibility>) を参照してください。Sybase Accessibility サイトには、第 508 条と W3C 標準に関する情報へのリンクもあります。